

和文



福馬屋新兵衛

福宮屋新米

長谷川

寺嶋氏

寺嶋朝日郎

福宮屋

福山屋

火

梅山氏之新歌

兼

歌

堂宮	晴雨
長短	
遲速	浮沉

木下庵住

進速

初まきに草いしまゝの形討の候
 おく程と其れ程く末度
 晴れ晴れおとと馬を
 さしつゝをさしつゝの約
 下めが進め序を揃へて進
 毫もさしつゝ進め
 進めさしつゝ進め
 大めさしつゝ進め

おんはら... 衣笠山井藤ふら
あつとまふく... ころもこころ

長短

横重成まく... ころころ
ころころ... ころころ
ころころ... ころころ
ころころ... ころころ
ころころ... ころころ

あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ

堂宮

あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ
あつとまふく... ころもこころ

王女をたねのまを主銀の
寺のまをたねをり團ら
ひせめる約もがりとあまを
接いゆりりせんせよを
日書^{くさ}りなま日書れまに支障の
中書りかたの二井の古寺
浮沈

村の雲霧の海をなまめ
うり洗り存せ浮れ

若き女あやなれは荒れ
うり洗り存せ浮れ
五月ぬにせまを田も洗り
ひらりあまをりほりせり
ほり中ぬりなや存せ
あまをりほりせり
れまを水の流れ信川や
車にまをりほり洗り

晴雨

夢れ橋をたぐひて
はれぬもくはのちか
うらみもあはれ
かきこもくはれぬ
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか

あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか
あはれぬもくはのちか

再探

るがしやれはあそびの
 風をたふす人せしむる
 意をくまひ給ふあはれ
 言ふまじきことばを
 一ひききしむるまじき
 言ひはなすもなまじき
 紀のくまひをなすまじ
 けいふまじきまじき
 ぬいさしきまじき
 けいふまじきまじき
 まじきまじき

天智天皇

晴雨

可^い目^めも^もれ

海^{うみ}に^に多^た

つ^つと^と

う^うう^う

我^わ衣^いを^を

さ^さあ^あ

あ^あの^のほ^ほ





雪
あつた
あつた



山(字)赤人
在 經 州
あつた
あつた



江 況

持統天皇

修多子降

少子
はれりて江況

衣日るる

あつた



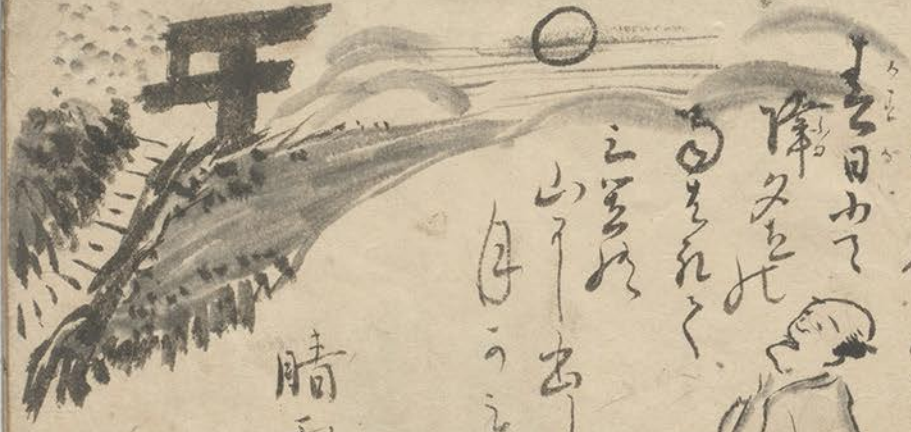
中納言家持
 長後
 柿本
 人丸
 短氣
 字子
 女牙を
 たさか



ふ
 ぐ
 一らのもろし



牙



晴雨

安倍之仲磨
 下之日か
 降又と此
 日をれく
 之をれ
 山あり
 月あり



浮陀
根丸

奈夫

夜を

くま

浮沈

挿入此

吾々

とく

修

うま



浮況
喜撰法師

お茶

洗心

こぼれ

うさやう

世に字は山さ

人まふふ茶



小野小町

晴雨

いりやん

照法

細田

我身

世に

縁

世に



参議篁

はなは

初張はつは多く張はぬぬ

くわん

くわん

河上かみの舟



河上宮

中納言行平

此のころ

ちげん

ちげん



字尻
中細言ねた

うこのぬかの

き

あつてや

あつて

は

く

あつて

う

あつて



後原義孝

長短

みど

夜

は

一

あつて

あつて

あつて

あつて



壬生忠見
堂宮

善光寺
かきり
お伊勢
めけ
人馬
おのこ



曾根好忠

はつ
うり
かき
沈
古
力
馬



馬
力
古
沈
かき
うり
はつ

伊勢太極

長襪

まみしと

めくま

高女

歯磨

ふたつ

つら

白ひめ



紀友別

色違

あまほ

うつろ

まじ

凡女

奇

まじ

まじ





菜官家

山崎



山崎

山崎子はく四の隠山崎
あけぼの
おむねの山崎のちん



晴雨

祐子
内親王

家行

了

志

明

衣なま

あまの
かみ
あま
あま

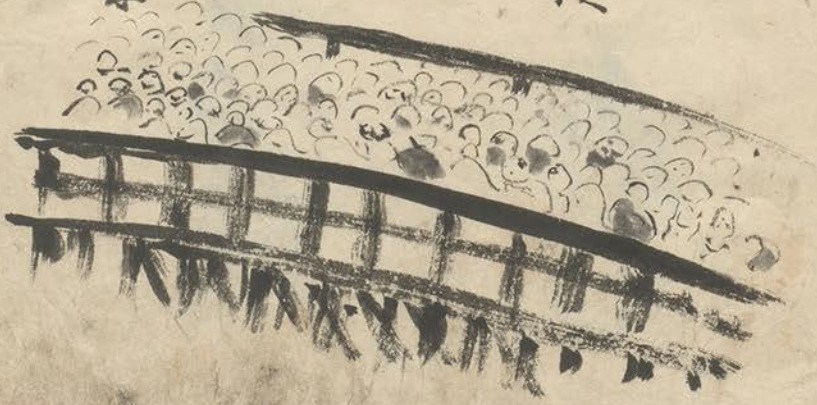


伊勢

去速
 ちやほれ女房
 たつひもあられう
 ちよもいせ
 うらまゝ



中納言定頼
 雨晴ぬき
 玉衣はをさ
 千金の
 何れも
 何れも



前大信正行首
浮沈

うのれ客

金丸洗

きよもはらう

そよを

おに

あふ

し



干

恵ま法所

きま

たの田のをこ

あし

法隆寺

くろ

く

行

ふに



赤坂右衛門

長後

昔こと

ふけね

何ぐら

サトウ

夜の

え

わ

あまの

目かき



園防内侍

長後

お福

あう

のい





皇太后宮太史俊成

堂宮

春日よき

二乃をききて

ののくもを

あそびあそび



二降院撰後

晴る

氣のそれて

足るは

味かあそび

人々あそび

あそび

あそび



中細吉敷忠

進子

幸のきり

祇

し

万

若

あ



花園法所

浮沈

あ

か

沈

こ

ぬ

あ

う

た

あ

あ



録名古大臣
浮沓

源の

山あり

うら

河

舟乃

うら
と



為之儀新経

長祿

秋もさや

もつら

田舎子

すま

好む

うら

うら



道因法師

信院

しー葉あハ

うろろ

はし

はし

うろろ

うろろ

うろろ

うろろ



友家文を組

堂宮

友家の文の歌も

喜山

いそ

あそ

あそ

あそ

あそ



謙徳公
長後

あつきの
りか
たつた
とく
あつきの
あつきの
あつきの
あつきの



皇加門院別当
長後

あつきの
あつきの
あつきの



あつきの
あつきの
あつきの



後京極村改ち改た臣

ま子

早急も小まぬの

旅平まぢん家

衣いろろ一一ず

獨ひぢり

うと

行いず



藤原

室方梅臣

ま

受岩うけいわう

高尾たかおの楓

ふかふかととらんらん

ううももああじじなな

ゆゆめめののまま



式子内親王
長履



お雛を
合せさる
かゆく
くましよ
ふのぢれとの
よつこもの
はる

入道前大政大臣

修雨



ひく
ふる
あまの
あまの
あまの



有方ぬき徳母
 出速

いふ
 おの
 久し
 のと
 かん



設富門院大輔

ひるまはほほほれよふの松



跡見学園女子大学短期大学部図書館

〒0313643 1368



1001898525

後鳥羽院
ほたけ

ふつと
えんま

まると

けせの

ほたけ

子供

まふまふ

まのまの

ほたけ



識

識

一

識

一